

■ ABSTRACT OF JAPANESE PUBLICATION OF UNEXAMINED UTILITY  
MODEL APPLICATION No. 62-76732 (JP62-76732U)

An instrument panel device for an automobile includes: a panel body 1 having interior air ports 2, 3, 4 on a front side, defroster air ports 5, 6 on a rear upper side and a dent 8 for mounting gauges on the front side; and nozzles 2a to 6a that are attached to the air ports 2 to 6 of the panel body 1. The panel body 1 is integrally molded by blow molding, and parts of side walls of the panel body are welded in opposite directions to provide an air blasting duct 12 intercommunicating with the interior air ports 2, 3 and a defroster duct 13 intercommunicating with the defroster air ports 5, 6, the ducts being respectively spaced apart from the panel body 1 by the weld parts.

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 昭62-76732

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和62年(1987)5月16日

B 60 K 37/00  
B 60 H 1/34  
B 60 S 1/54

8108-3D  
E-7219-3L  
F-7443-3D

審査請求 未請求 (全2頁)

⑮ 考案の名称 自動車用インストルメントパネル装置

⑯ 実 願 昭60-166699

⑰ 出 願 昭60(1985)10月31日

⑱ 考 案 者 石 田 龍 一 横浜市南区永田山王台2-22

⑲ 考 案 者 米 花 秀 男 市川市市川1-18-10

⑳ 考 案 者 望 月 勉 大宮市別所町114-9

㉑ 出 願 人 キョーラク株式会社 京都市上京区烏丸通中立売下ル龍前町598番地の1

㉒ 代 理 人 弁理士 米原 正章 外1名

㉓ 実用新案登録請求の範囲

手前側に室内用の送風口2, 3, 4を、また後上面にデフロスタ用の送風口5, 6をそれぞれ設け、さらに手前側に計器類取付け用等の凹部8を設けたパネル本体1と、このパネル本体1の上記各送風口2, ~6に取付けるノズル2a, ~6aとからなる自動車用インストルメントパネル装置において、パネル本体1を中空一体状に成形すると共に、その側壁の一部を対向方向に溶着して室内用の送風口2, ~3に連通する空気送風用ダクト12と、デフロスタ用の送風口に連通するデフロスタ用ダクト13をそれぞれ上記溶着部にて隔

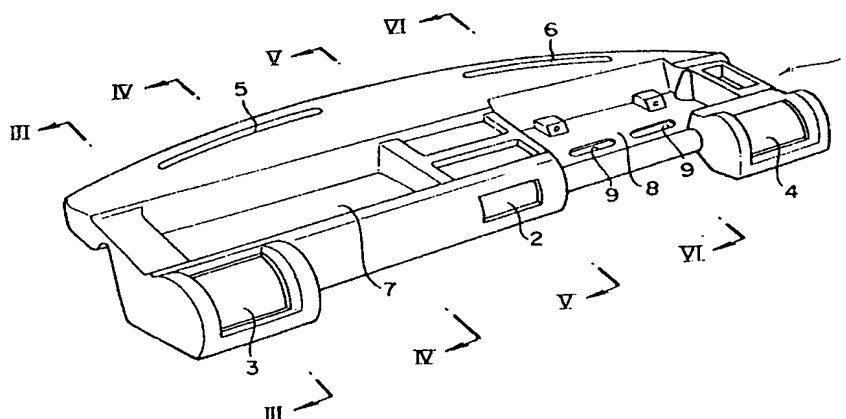
離して設けたことを特徴とする自動車用インストルメントパネル装置。

図面の簡単な説明

図面は本考案の実施例を示すもので、第1図は自動車用インストルメントパネル装置のパネル本体を示す斜視図、第2図はパネル本体にノズル等を固着した後の状態を示す斜視図、第3図から第6図は第1図のⅢ-Ⅲ、Ⅳ-Ⅳ、Ⅴ-Ⅴ、Ⅵ-Ⅵの各線に沿った断面図である。

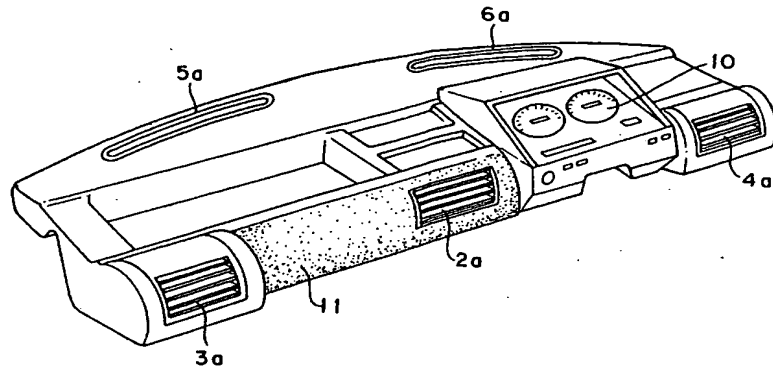
1はパネル本体、2, ~6は送風口、2a, ~6aはノズル、8は凹部、10は計器、12, 13は空気送風用及びデフロスタ用のダクト。

第1図

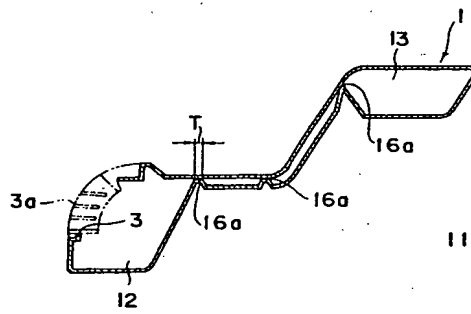


実開 昭62-76732(2)

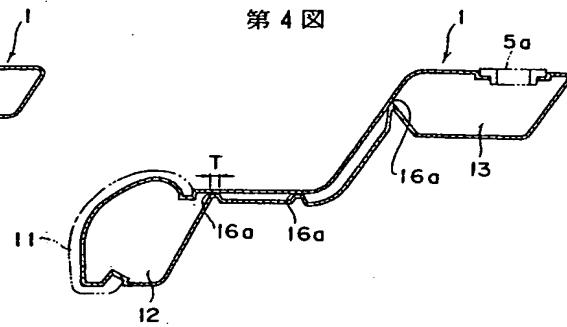
第2図



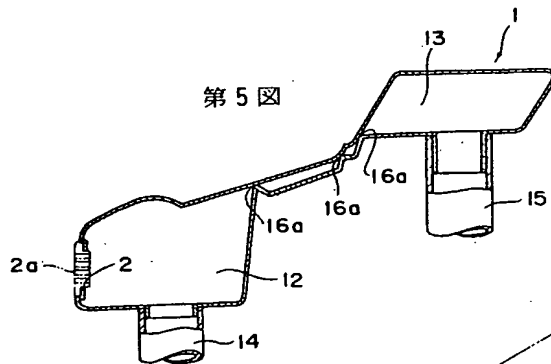
第3図



第4図



第5図



第6図

